

第十五師團步兵第一四四連隊

詩  
田  
章  
雄

昭和五年七月廿八日	軍令陸軍第一九号に依り、歩兵第一四四連隊の編成を令せられ 編成を完結す
天九月九日	宮中に於て、天皇陛下より軍旗一枚を勅語と共に親授せらる 鯉井一五編成六号臨機第一〇一編成を令せられ
天九月八日	編成を完結す
天九月七日	南海支隊の戦斗序列を令せられ連隊は師団長・陸軍中将、竹内寛の隸下を脱し 大本営直轄たる南海支隊長陸軍少将、堀井當太郎の隸下に入る
天九月六日	連隊は「ガム」島攻略の急、母島出航
天九月五日	末明「ガム」島上陸
天九月四日	島内の掃蕩を完了す我が損害ナシ
天九月三日	末明「ニユーブリテン」島に上陸
天九月二日	「ラバウル」帝國が附近軍事施設を占領す、我方損害 戰死傷 約一〇 連隊は一部（II）を以て「サラモア」を攻略す、我方損害 戰死六 負傷二六
天九月一日	作戦（珊瑚海々戦）に参加す、我方損害なし

0434

年	月	日	概要
昭	五	三	南海支隊は第一七軍の隸下に入る。
正	七	九	イリヤー号作戦ヘイモレスビー攻略作戦に参加
入	八	一	東部イニューマニア作戦
入	九	二	転進作戦
元	十	三	連隊長山本大佑の指揮する約三〇〇名「アバウト」附近の戦斗に参加玉碎す
大	十一	四	我方損害戦死及び戦傷病死者（戦死確認を含む）約三三三〇名
元	十二	五	支隊長堀井小将、連隊長山本大佑 戦死戦傷病に依り内地還送患者、約四〇〇名（エヌ・エム・ニアード・ローモン）作戦死殲者取扱いに関する第一八軍軍司令官の定めたる特例に依り処理す）
七八	十三	六	第一八軍の隸下に入る。
七八	十四	七	連隊主力は「アバウト」に到着。
七八	十五	八	南海支隊の編成を解除せられ、第一五軍司令官の隸下に入る。
九	十六	九	輸送並に「アキヤト」要域の確保並に防衛強化
九	十七	一〇	安山丸（連隊主力）は
九	十八	一一	高雄港外に於て敵急雷の攻撃を受け高雄港に上陸、約一ヶ月待機す
九	十九	一二	イペグレーに到着、第一五軍直轄より第一五五師團長の隸下に入る。
三	二十	一二	連隊は「ラングーン」に集結を完了し、遂次「マニ」半島に向い前進を開始す

(4425)

0435

年	月	日	備考
五	一	六	遂次、到着する隸下部隊を以て、「イマエ」半島の警備を棚橋部隊へ歩兵第二 連隊」と交替する。
五	三	五	師団直轄となり、「ハ」呂朱戦に参加
五	六	一	我方損害
五	六	一	戦死
五	六	一	戦傷死
五	六	一	戦病死
五	六	一	生死不明
五	七	五	「カカラダ」附近の戦斗に於て、岡部中尉の指揮下に在り候として、敵情搜索中敵に拉致されたるもの約し（土民言）
五	七	五	師団直轄より歩兵団長陸軍少将 櫻井徳太郎の隸下に入る
五	七	五	「カカラダ」戦友が「完」作戦に参加
五	七	五	我方損害
五	七	五	將校
五	七	五	下士官
五	七	五	兵
五	七	五	計
五	七	五	三〇
五	七	五	三二〇
五	七	五	三六八
五	七	五	三四
五	七	五	三二
五	七	五	三田
五	七	五	三
五	七	五	二一
五	七	五	二
五	七	五	一
五	七	五	一
五	七	五	三〇
五	七	五	大八六
五	七	五	七九
五	七	五	七八
五	七	五	七三
五	七	五	四五
五	七	五	四三
五	七	五	二
五	七	五	一
五	七	五	ナシ
五	七	五	生死不明
五	七	五	戦傷死
五	七	五	戦病死
五	七	五	戦死
五	七	五	半島の防衛
五	七	五	甲部隊と交代連隊主力（三大隊欠）は「ミー」出発

0436

18  
外  
印

年	月	日	概
一 九	三 月	二 五	転進を開始す
二 九	三 月	三 五	「バセイン」に到着函南地区（「バセイン」河以西）の防衛に仕す
三 一	三 月	四 五	陸海連合機動演習参加の為、連隊主力（中隊以下各集成中隊及び機関鎗の一部）
四 一	三 月	五 五	歩兵砲小隊（一分欠）鐵血疾風隊要員を含む）欠は「カラダン」出発
五 一	三 月	六 五	「ビンマナ」附近の戦斗に参戰（二欠）
六 一	三 月	七 五	我方損害
七 一	三 月	八 五	將校
八 一	三 月	九 五	下士官
九 一	三 月	十 五	兵
十 一	三 月	十一 五	計
十一	三 月	十二 五	戦死
十二	三 月	十三 五	病死
十三	三 月	十四 五	死
十四	三 月	十五 五	生死不明
十五	三 月	十六 五	戦傷
十六	三 月	十七 五	死
十七	三 月	十八 五	○
十八	三 月	十九 五	○
十九	三 月	二十 五	○
二十	三 月	二十一 五	○
二十一	三 月	二十二 五	○
二十二	三 月	二十三 五	○
二十三	三 月	二十四 五	○
二十四	三 月	二十五 五	○
二十五	三 月	二十六 五	○
二十六	三 月	二十七 五	○
二十七	三 月	二十八 五	○
二十八	三 月	二十九 五	○
二十九	三 月	三十 五	○
三十	三 月	一 九	トングー東北方に向ひ転進す
一 九	三 月	二 九	イモーチ道々標
二 九	三 月	三 一	自三哩至三五哩の間戦斗に参加
三 一	三 月	四 一	「トングー」附近に残置せし若崎大尉以下、約二〇名を四哩附近に於て、専
四 一	三 月	五 一	忠矣團長の隸下に復帰す
五 一	三 月	六 一	兵團主力の転進に伴ひ、其の任務を継承し、鳳集團長の指揮下に入る、第ニ大隊
六 一	三 月	七 一	原所居に復帰す

0437

年	月	日	敵方損害	我方損害	將校	下士官	兵	計
昭和	五月	一〇	戦死	一	八	一一	一〇一	一一〇
		一	戦傷死	一	〇	七	七	七
		二	戦傷死	一	一	一	一	三
		三	生	五	五	九八	一〇八	一一三
		四	死	九八	一	一一	一一	一一〇
		五	不	九八	一	一	一	一
		六	明	九八	一	一	一	一
		七						
		八						
		九						
		一〇						
		一一						
		一二						
		一二						
		一三						
		一四						
		一五						
		一六						
		一七						
		一八						
		一九						
		二〇						
		二一						
		二二						
		二三						
		二四						
		二五						
		二六						
		二七						
		二八						
		二九						
		三〇						
		三一						
		三二						
		三三						
		三四						
		三五						
		三六						
		三七						
		三八						
		三九						
		四〇						
		四一						
		四二						
		四三						
		四四						
		四五						
		四五						
		四六						
		四七						
		四八						
		四九						
		五〇						
		五一						
		五二						
		五三						
		五四						
		五四						
		五六						
		五七						
		五八						
		五九						
		六〇						
		六一						
		六二						
		六三						
		六四						
		六五						
		六六						
		六七						
		六八						
		六九						
		七〇						
		七一						
		七二						
		七三						
		七四						
		七五						
		七六						
		七七						
		七八						
		七九						
		八〇						
		八一						
		八二						
		八三						
		八四						
		八五						
		八六						
		八七						
		八八						
		八九						
		九〇						
		九一						
		九二						
		九三						
		九四						
		九五						
		九六						
		九七						
		九八						
		九九						
		一〇〇						
		一〇一						
		一〇二						
		一〇三						
		一〇四						
		一〇五						
		一〇六						
		一〇七						
		一〇八						
		一〇九						
		一〇一〇						
		一〇一一						
		一〇一二						
		一〇一三						
		一〇一四						
		一〇一五						
		一〇一六						
		一〇一七						
		一〇一八						
		一〇一九						
		一〇二〇						
		一〇二一						
		一〇二二						
		一〇二三						
		一〇二四						
		一〇二五						
		一〇二六						
		一〇二七						
		一〇二八						
		一〇二九						
		一〇三〇						
		一〇三一						
		一〇三二						
		一〇三三						
		一〇三四						
		一〇三五						
		一〇三六						
		一〇三七						
		一〇三八						
		一〇三九						
		一〇四〇						
		一〇四一						
		一〇四二						
		一〇四三						
		一〇四四						
		一〇四五						
		一〇四五						
		一〇四六						
		一〇四五						
		一〇四八						
		一〇四九						
		一〇五〇						
		一〇五一						
		一〇五二						
		一〇五三						
		一〇五四						
		一〇五五						
		一〇五六						
		一〇五七						
		一〇五八						
		一〇五九						
		一〇六〇						
		一〇六一						
		一〇六二						
		一〇六三						
		一〇六四						
		一〇六五						
		一〇六六						
		一〇六七						
		一〇六八						
		一〇六九						
		一〇七〇						
		一〇七一						
		一〇七二						
		一〇七三						
		一〇七四						
		一〇七五						
		一〇七六						
		一〇七七						
		一〇七八						
		一〇七九						
		一〇八〇						
		一〇八一						
		一〇八二						
		一〇八三						
		一〇八四						
		一〇八五						
		一〇八六						
		一〇八七						
		一〇八八						
		一〇八九						
		一〇九〇						
		一〇九一						
		一〇九二						
		一〇九三						
		一〇九四						
		一〇九五						
		一〇九六						
		一〇九七						
		一〇九八						
		一〇九九						
		一〇一〇〇						
		一〇一〇一						
		一〇一〇二						
		一〇一〇三						
		一〇一〇四						
		一〇一〇五						
		一〇一〇六						
		一〇一〇七						
		一〇一〇八						
		一〇一〇九						
		一〇一〇一〇						
		一〇一〇一〇一						
		一〇一〇一〇二						
		一〇一〇一〇三						
		一〇一〇一〇四						
		一〇一〇一〇五						
		一〇一〇一〇六						
		一〇一〇一〇七						
		一〇一〇一〇八						
		一〇一〇一〇九						
		一〇一〇一〇一〇						
		一〇一〇一〇一〇一						
		一〇一〇一〇一〇二						
		一〇一〇一〇一〇三						
		一〇一〇一〇一〇四						
		一〇一〇一〇一〇五						
		一〇一〇一〇一〇六						
		一〇一〇一〇一〇七						
		一〇一〇一〇一〇八						
		一〇一〇一〇一〇九						
		一〇一〇一〇一〇一〇						
		一〇一〇一〇一〇一〇一						
		一〇一〇一〇一〇一〇二						
		一〇一〇一〇一〇一〇三						
		一〇一〇一〇一〇一〇四						
		一〇一〇一〇一〇一〇五						
		一〇一〇一〇一〇一〇六						
		一〇一〇一〇一〇一〇七						
		一〇一〇一〇一〇一〇八						
		一〇一〇一〇一〇一〇九						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇一						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇二						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇三						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇四						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇五						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇六						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇七						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇八						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇九						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一						
		一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二						
		一〇						

(428)

0438

年	月	日	概	要
昭和	八	二	終戦	
			イモールメン	南方セリュに於て、軍旗奉還式を挙行引続軍旗を奉焼す
			より師団主力に遙及の急イモールメン	出発
			仏印ロメアス	（アノベン西北九。料）に集結を完了す
			同地に於て、先行の寺尾中尉以下一七大名を掌握す	
			アノベン市内の整備	
			ロメアスに於て、英軍に依り、武装解除を受け公私金貴金属品の回収を行	
			う	
			最後集結地に向いロメアス	出發
			ロンハイ（サンジャック）東北方一五料	に集結を完了す
			以降「盤」及び「克」作戦に於て、我方損害	
			戦死	
			一三	
			戦傷死	
			一七	
			病死	
			一九	
			生死不明	
			二八八	
			外二旅武兵因及び箇部隊に於て本掌權となりたる者	
			六三四名あり	
			計	
			一七八	
			二〇八	
			九	
			八	
			七	

0439

(429)

年 月 日	概 要
歴代部隊長	
第一代	陸軍大佐 柳瀬 正雄
連隊長代理	陸軍中佐 塚本 初雄
第二代	陸軍大佐 山本 重省
第三代	陸軍大佐 吉田 章雄
部隊事情精通者	
兵庫県美方郡温泉郷熊谷六八〇番地	
香川県木田郡下高岡村三八二番地	
陸軍大尉 川口 保一	
陸軍大尉 松田 清一	
陸軍中尉 水口 田藏	
高知県高岡郡新宇佐町宇佐一大九五番地	
陸軍准尉 島田 第喜	

(1430)

0440